

東京教区慶讃法要
同朋の会団体参拝 (四月十四日)



本願力

～横浜別院だより～

今号（一〇三号）は、先ずお詫びと訂正から始めなければなりません。
先号（一〇二号）の最後に『高僧和讃』の曇鸞和尚を讃じられた、
罪障功德の体となる

を挙げ、さわりを徳として生きる道を求めて聞法して行きたいと思います。と結んだのですが、「罪障」が「罪惡」と表記されていきました。大切な御聖教、親鸞聖人の御和讃を誤つてお伝えしてしまいました事、深謝致します。誠にお恥ずかしい次第であります。誤記に気付きましたのは、印刷所から仕上がった『本願力』が届いた後、読み直した時でした。その時の私の正直な思いは、「え、何故」という事でした。私は今だに原稿は自筆で書いているのですが、印刷原稿用にパソコンで打ち直してもらつた原稿を何度も確認してから印刷所に出稿していますから、間違いなく私のミスである訳ですが、間違いを見逃しながら自分は

こおりとみずのごとくにて
こおりおおきにみずおおし
さわりおおきに徳おおし

「人のわろき事は、能く能くみゆるなり。
わがみのわろき事は、おぼえざるものなり。
わがみにしられてわろきことあらば、能く
能くわろければこそ、身にしられ候うと思
いて、心中を教むべし。ただ、人の云う事
をば、よく信用すべし。わがわろき事は、
おぼえざるものなる」由、仰せられ候う。

輪番 森田 成美

〒234-0051
横浜市港南区日野一一一一八
（〇四五）八四一一三四二八
FAXTEL
(http://www.yokohama-oottani.com)

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

正しいという所に立って、なかなか納得出来ない私がそこにいました。

『蓮如上人御一代記聞書』に、

「人のわろき事は、能く能くみゆるなり。
わがみのわろき事は、おぼえざるものなり。
わがみにしられてわろきことあらば、能く
能くわろければこそ、身にしられ候うと思
いて、心中を教むべし。ただ、人の云う事
をば、よく信用すべし。わがわろき事は、
おぼえざるものなる」由、仰せられ候う。

ことあらば、能く能くわろければこそ」本当にそうです。教えの言葉として、罪惡深重、煩惱熾盛とお聞きしていくても頭の上を通り過ぎて、私は正しいという我愛を離れることはなかなか出来ないのです。以前、本山の同朋会館で教導の先生から「茶碗の話」をお聞きした事がありました。それは、自分が落した時は茶碗が割れたと言い、他の人が落した時は〇〇が茶碗を割ったと言ふと教えて下さいました。その先生が長崎の方で、長崎弁で語られるものですから、本当に身に染みてお聞きした事でした。爾來、数十年経ているのですが、茶碗の話を思い出す場面が度々有りました。同じ様な過ちを繰り返してしまうのです。それは、「人はわろき、われはよし」というところに立っているからでしょう。茶碗は割れたのではなく、茶碗を落して割つたのは私であります。

蓮如上人は「心中を改むべし」とお示し下さっています。今回の誤記であらためて知らされた身の事実であります。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

盂蘭盆会法要

7月14日(月) 午後1時30分より

【法話】津田徹英 氏

(青山学院大学文学部比較芸術学科教授、

真宗木辺派僧侶)

皆様と一緒に、お盆を仏法聴聞の機縁として、亡き人々からの尊い呼びかけに応えていきたいと存じます。どうぞご参詣ください。

定例法話 午後1時30分より

6月9日(月)三浦組 勸明寺 藤尾明信 氏

6月28日(土)別院 輪番 森田成美

7月9日(水)川崎組 光明寺 菊川了英 氏

7月28日(月)別院 列座 佐竹大樹

8月9日(土)湘南組 三寶寺 目崎明弘 氏

8月28日(木)別院 列座 家本久和

※法話終了後の「座談会」開催しています。

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

8月18日(月) 午後1時30分～3時

11月18日(火) 午後1時30分～3時

内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。

【講師】家本久和 (横浜別院列座)

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本をお持ちでない方はこちらで準備します。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

横浜別院同朋の会・おみがき会

6月14日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

音楽法要とは、二〇一一年に宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌を機縁として作られた新しい形の法要です。法要是、大谷裕新門の調声により、東京教区混声合唱団を中心にして、仏教讃歌を通じて、仏教合唱連盟の協力を得て、仏教讃歌の中、出遇莊厳な雰囲気の中、出遇いの慶びを表現され、嚴かに勤まりました。また、華やかに活けられた仏華が法要に花を添えました。

今年は、十月三日(金)の教区報恩講に団体参拝する計画もたてておりま

すので、ぜひそちらにもお参り下さい。

(家本)

《2025年度第1回声明儀式研修会》

6月4日(水)13時30分～16時30分

【講師】友松雅英 氏(東京2組 西岸寺住職)

【講題】「葬儀・三帖和讃回り口」

【参加費】1,000円 ※事前申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

《開かれたお寺づくり事業》

「グリーフケアの集い(研修会)」

6月23(月)10時30分～16時

【講師】坂井祐円 氏(元仁愛大学准教授)

【内容】グリーフとは何だろう?

ケアとは何だろう?講師のお話など

【参加費】1,000円 ※詳細はチラシ参照

《暁天講座》

8月25日(月)・26日(火)

午前7時～8時45分

【参加費】無料 ※当日受付・申込不要

【講師】<25日> 不破英明 氏

(大垣教区圓龍寺住職、真宗本廟教化教導)

【講題】「生老病死の身」

【講師】<26日> 佐竹真城 氏

(武藏野大学仏教文化研究所客員研究員・淨土真宗本願寺派僧侶)

【講題】「金沢文庫・称名寺と浄土教」

■両日、パンと豆乳をお配りします。

グリーフケアのつどい

【日時】 6月14日(土) 午後2時～

8月23日(土) 午後2時～

10月11日(土) 午後2時～

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。

編集後記

四月十四日(月)、東京教区慶讃法要初日に真宗会館へ団体参拝を行いました。当日は十二名の方々とお参りをしまして、武田定光先生から「出遇いの慶び」をテーマとしてお話をいただきました。その後、音楽法要が勤まりました。